

身体（病気や症状）や心のお悩みをご相談ください。一般薬も置いてます！



健康相談



健康相談所は **健康(漢方)相談** ができるお店です

相談は無料です。お気軽にご相談くださいね

店主の磯崎香（いそざきかおり）です。

申年&いて座。50才・A型

大津市富士見台出身。息子一人。

「食生活を含む毎日の生活習慣」が健康の基本という考えを元に、

中医学(漢方)の考えを取り入れた健康相談をさせて頂いています。

健康相談所
HP



見てね♪

健康相談所店主

磯崎香

4月になりました。昨年夏は花粉の量が
暖冬、春も早く来て、今年も花粉の量が
多く、症状は「目の痒みや鼻詰まり」など
炎症系の症状が目立ちます。春は本来なら
過ぎしやすくお出掛けも楽しい時期ですが
花粉症や黄砂（PM2.5）などでお出掛
けが楽しめない方も多いと思います。花粉
などの症状をひどくしないためには「甘い
もの（パンや麺類、ご飯も）、冷たいもの、
乳製品、添加物の多い食品」の摂り過ぎを
控え、早寝早起きを心がけるといいですよ。

ケイアイ新聞
健康相談所版

2019年
4月
第48号



心身の疲れが取れない 寝ても疲れが取れないあなた

あなたの疲れ
とります！
相談してね♪

お仕事や家庭、子育てで忙しい毎日の繰り返し。あれもこれも
やるのがいっぱい…。でも、自分のことは後回し。これじゃ～
疲れやストレスが溜まるのも無理ありませんよね。

ああ、疲れた…たまにはゆっくり休みたい…いつまでも寝て
いたい…。そう、思っている方も多いのでは？



よしよし



はあ～疲れる…

現代人は疲れ果てています…。

ケイアイ薬品健康相談所 <水・日曜日・祝日がお休み>

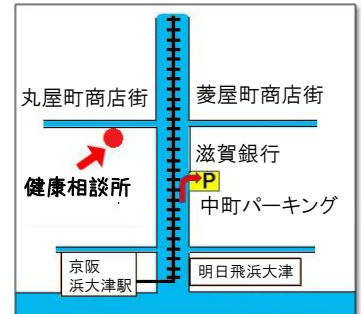
先月、多かったです

先月は、花粉症のご相談が一番多かったですね。今年
の花粉症は「目のかゆみ」「鼻詰まり」など炎症系の
症状が多く、西洋薬の効きが今年は悪い。逆に漢方
のお薬と乳酸菌などを合わせる方が効果が良かったです

健康相談所HP



駐車場は中町パーキングをご利用ください



【営業時間】 午前10時から午後6時【電話】077-522-8039
【住所】 〒520-0043 大津市中央1丁目5-4 丸屋町商店街内

5,000円以上お買上げで1時間無料券を進呈

お悩みの方、ご相談くださいね

長年、治らず悩んでいる方も…

若い女性にも多い 痔(ぢ)

出血や炎症(痛み)を伴う痔(ぢ)は、排便の度に悪化するため治りにくく、また、病院に行きにくいいため市販の軟膏や座薬で対処されている方も多いのです。しかし、冷え、血流、血液状態、食事や生活習慣が影響していることが多いので対処療法のお薬では治すことができません。痔は体質改善でかなり良くなるので、一度、ご相談を!!



痛みや出血をなんとか治したい!
根本改善したい!とお考えの方、
一度ご連絡くださいね。

健康相談所
HP

相談は無料です。

HPから⇒



電話: 077-522-8039まで

お買い物割引券

このチケットをお持ちの方、
商品一品一個に限り。

10% OFF

4月末まで有効・他チケットと併用不可
特価品・推奨品・一部メーカー品を除く

丸屋町商店街 健康相談所

TEL: 077-522-8039

お買い物券

¥ 100

1点500円以上お買い上げの方

特価品・一部メーカー品を除く

4月末まで有効・他チケットと併用不可
丸屋町商店街 健康相談所

TEL: 077-522-8039

生理痛はないのが 当たり前

自分のために治すことです



生理痛や周期の乱れなどの生理トラブルは、冷え、血液不足、ストレス、生活習慣の乱れなどが原因で起こります。漢方で体質改善をすることで、ツライ生理トラブルが改善し、快適な身体を手に入れることができます。まずは、ご連絡下さい♪

「認知症と中医学(漢方)」

現在、患者が460万人以上もいるという認知症の特効薬は今のところなく、自身や家族の認知症を心配されている声を多く聞きます。

中医学では「病気を未然に防ぐ」「病気にかりにくい体質をつくる」という未病先防が重要と考えています。認知症に対してはどうでしょう?



Q まず、認知症と健忘は違うの?

A 健忘症は加齢が原因の自然の老化現象です。

人の名前が出てこない、出かける前にカギをかけたか忘れるといった健忘症は、加齢の問題で誰にでもあることです。一方、認知症は、器量的、病理的な変化を起こした病気という点が大きく違います。よく知られているアルツハイマー型認知症は、脳の細胞が委縮することで引き起こされます。これ以外でも脳出血、脳梗塞、高血圧など脳血管病の後遺症(脳血流)、栄養状態が悪くなると認知症を招くことも多々あります。健忘症は老化状態であり、脳細胞が徐々に減り衰えていることで起こるので、銀行やスーパーの場所など生活面で大切なことは忘れませんが、認知症は空間、

時間ともに忘れてしまうので、「どこから来たのか?」「ご飯を食べたのか?」といった直近のこと自体も覚えていられないのです。

Q 中医学ではどうするの?

A 衰えた身体の機能を漢方薬で補い、積極的な脳(血流)のケアをしていく。

中医学では、脳は腎(腎臓)の蓄える「精(生命エネルギー)」によって維持されていると考えています。加齢により腎の機能が弱まると脳の萎縮や機能低下が起こるため物忘れが出てくるようになります。腎機能が低下するのは、女性は35才、男性は40才からなので、若い年齢から補腎薬を使って補腎をしていくことが認知症予防には有効になります。

また、他に中医学の考えでは、脳の働きは血が運ぶ栄養や酸素といった気のエネルギーによって保たれると考えているので、全身に血を送る心(心臓)や、食事や栄養から気血を作り出す脾(胃腸)の働きを健やかに保ち、気血を補うと共に、脳血流を良くすることも認知症予防につながると考えています。

認知症は、漢方である程度は予防することができます。ぜひ、ご相談ください。